

災害時の断水を想定した給水訓練

中央内科クリニック

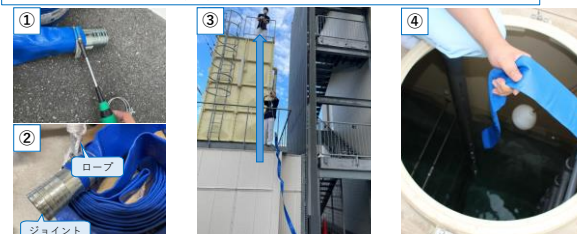
平成 30 年 7 月豪雨により、各地で土砂崩れや河川の氾濫による災害が発生しました。自施設では、水道用水の供給を担う施設（小屋浦開閉所）が全壊した影響を受け 10 日間の断水となりましたが、断水中は各地の水道事業者や自衛隊などの協力のもと受水槽への給水を行い、透析治療を継続することができました。

災害から約 5 年半が経ち、断水時の給水を経験していないスタッフも増えたため、この度、呉市上下水道局に協力を依頼して、断水を想定した給水訓練を実施しました。

訓練手順書 ～一部を紹介！！～

給水方法

- ① 給水側のホースの先にジョイントを装着しホースバンドで固定させる。
- ② 受水槽に登る人はロープを持って登る。受水槽上からロープを垂らしホースの先端にロープを括りつける。
- ③ 受水槽上からはロープを引っ張り、受水槽上までホースを吊り上げる。
- ④ 水中ポンプの電源プラグを発電機(電源)に繋げ、給水開始。



水中ポンプの使用方法

- ① 水中ポンプにホースを接続する。接続部はホースバンドを2つ使用してしっかりと固定させる。
- ② 水中ポンプを使用する場所(一時受けのタンク内)に設置する。
- ③ 発電機のコンセントに電源プラグを接続すると水中ポンプが水を吸い始める。



訓練風景



水中ポンプにホースを繋げる



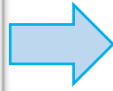
2t 給水車



給水車からタンクに給水



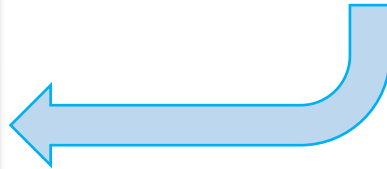
水中ポンプをタンクに入れる



ホースを給水口へ



給水開始！



今回の訓練参加者は、臨床工学技士 12 名、看護師 10 名、事務職員 5 名、理学療法士 1 名、医師 2 名でした。豪雨災害の時は臨床工学技士が主に給水を行っていましたが、今後、有事の際には職種関係なく行動できるようにと手順書を作成し、看護師や事務職員にも訓練に参加してもらいました。しかし、訓練中の受水槽への給水は臨床工学技士が主体で行ったため、訓練後に看護師から「実際に体験してみたかった」という声がありました。そのため、今後は職種を問わず出来るだけ多くのスタッフが、受水槽への給水を体験できる訓練にしたいと考えています。

ポータブル発電機の動作訓練

停電の時にも水中ポンプが使えるように、自施設ではポータブル発電機が備えており、発電機の動作確認を兼ねた訓練も行いました。

ポータブル発電機は水中ポンプ以外の電気機器にも使用できます。

カセットボンベをセットして始動グリップを引っ張るだけで作動できるため、スタッフからは意外と簡単に扱うことができたという声が多かったです。

